

纖維製品、木材等の難燃化に最適

# GP-防炎剤

日本防炎協会認定防炎薬剤

(試験番号F2130001)

GP防炎剤は、浸透式でノンハロゲン系の水溶性防炎剤です。当製品は多種の難燃剤、浸透促進剤などで構成され無毒無臭です。さらに揮発性有機溶媒（VOC）など一切使用しておらず、人体及び環境に優しい製品です。又、浸透性のある物であれば素材の風合い、特性、色、形等を変える事なく防炎性能を持たすという特徴を持っています。

## ●画期的な防炎性能を実現

GP防炎剤を処理した対象物は、火炎にふれると炭化し燃え上がらず、自己消化性能を発揮します。

## ●水性・ノンハロゲンで安心

主成分に、ポリ磷酸アンモニウムを使用。揮発性有機溶剤等は一切使用していませんので、公的試験でも人体に有毒なガスが発生しない事も認められたほか、数々のデータが人や環境への安全性を実証しています。

## ●施工性が抜群に良い

スプレー・ハケ・ローラー・含浸など、基材にあった方法で施工できます。また、水性なので、使用後施工器具も簡単に水で洗い流せます。

## ●適用下地と用途

- 木質系資材一般木材、合板、MDF、チップボード、木製ドア、木製窓枠、外壁材、家根材、畳などの不燃・難燃化
- 纖維製品カーテン、クロス、カーペット、じゅうたん、衣服、ソファーなどの防炎化
- 紙製品障子、ふすま、梱包紙、段ボール、書物、紙クロス、キャンバスなどの防炎化

## ●素材を変えません

無色透明のGP防炎剤は基材の素材感を変えず、変色もしません。

### ■燃焼試験 ※石川県森林組合連合会様にて実験実施



左側：GP防炎剤含浸木材  
右側：普通の木材



右側の小屋は全焼状態。左側の小屋は一部炭化しているが発火はしていない

## ■適用材料

紙製品：障子・壁紙・襖・包装紙・段ボール・証券・重要書類等。

布製品：カーテン・絨毯・布製ブラインド・シーツ・クッション・ぬいぐるみ等。

木製品：各種木材料・ベニヤ等の合板・木製建具・木製家具等。

その他：舞台のどん帳、暗幕・テント、トラックの帆・神社、仏閣等の重要文化財等。

\* 材料表面に光沢加工、防水加工された製品・材料は対象となりません。

\* カーテン・絨毯などで化学繊維が20%以上含まれる布製品には使用出来ません。

\* 化学繊維が含まれている障子紙は不適当です。

## ■適用範囲

屋内のみ（屋外に使用する場合は、当社指定のトップコートを使用してください）

## ■製品特性

主要成分：ポリ磷酸アンモニウム（食品添加物）,硫酸アンモニウム（食品添加物）

比重：1.100 重量：1.125kg/㍑

色：無色透明 PH：7.50

## ■使用方法

### 1) 表面処理

事前処理として、材料面はゴミ、汚れ、油脂、レイタス等を除去し綺麗にして下さい。また、塗布面を乾燥させて下さい。

### 2) 塗布作業

G P 防炎剤は、①スプレー吹き方法・②ハケ塗り方法・③含浸方法・④機械含浸方法があります。

①～③は主に紙製品、布製品などの塗布方法で、④は木製品等の塗布方法となります。

\* 塗布作業前に必ず少量のG P 防炎剤を部分的に塗布し、変色・変形等が無いことを確かめてから塗布して下さい。

#### ①スプレー吹き方法

器具：噴霧機又はハンドスプレー

G P 防炎剤：原液（3回吹き付け・吹き付け間隔は触手乾燥で確認）

器具を使用して塗布表面から15cm～20cm位の間隔を保ち、多少多めに滴り落ちる位塗布して下さい。

G P 防炎剤は簡単に浸透します。両面に塗布して下さい。その後、日の当たらない場所で乾燥して下さい。

#### ②ハケ塗り方法

器具：水性塗料用ハケ（3回塗り・塗り間隔は触手乾燥で確認）

G P 防炎剤：原液

ハケに十分な量のG P 防炎剤を含ませて、滴り落ちる位に塗布して下さい。

G P 防炎剤は簡単に浸透します。両面に塗布して下さい。その後日の当たらない場所で乾燥して下さい。

#### ③含浸方法

器具：含浸させる製品が全部入る容器。（パレット・バケツ等）

G P 防炎剤：原液

器具に十分な量のG P 防炎剤を入れ、その中に製品を投入し3分位放置した後、器具から製品を取り出して下さい。

取り出すときは、G P 防炎剤をよく切ってから日の当たらない場所で乾燥して下さい。

#### ④機械含浸方法

器具：減圧含浸装置（76cm Hg）

G P 防炎剤：原液

始めに、含浸したい製品のサイズから飽和含浸になるまでの重量を割り出して下さい。（サンプルにて含浸時間測定）

その後、器具に十分な量のG P 防炎剤を入れ、含浸（機械の最大許容負圧で行う）して下さい。

サンプルにて含浸時間が測定出来たら、その含浸時間に従って工程を行って下さい。その後、製品を取り出しG P 防炎剤をよく切ってから日の当たらない場所で乾燥して下さい。

《石川県森林組合連合会認定国住指第1256号準不燃認定番号QM-0385》

《日本防炎協会防炎加工専門技術資格第5078号》